



新年のごあいさつ

高浜市長
吉岡 初浩

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による影響は依然として厳しい状況にあります。罹患された方におかれましては、一日も早い回復をお祈りしております。

そのような中ではありますが、昨年は「おまんまとまつり」や「鬼みちまつり」が開催されるなど、少しずつ日常生活が戻りつつあることを感じられるようになりました。これもひとえに、市内医療機関の皆さまのご協力により、新型コロナウイルス接種が推進されたこと、および市民の皆さまによる感染症対策へのご協力の賜物だと感じております。改めて、医療関係者をはじめとする、市民の皆さまの感染症対策へのご協力を心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に翻弄をされている状況ではありますが、「SDGs」や「カーボンニュートラル」など、社会を取り巻く多種多様な課題が顕著に表れるようにもなりました。市としても「エコでつながる！家計応援×お店応援商品券」の発行、省エネ設備更新支援事業の実施など、さまざまな視点から施策を行ってまいりました。本年も、昨年引き続きフードドライブを実施いたします

ので、皆さまのご支援をお願い申し上げます。さて、本年は、市民の皆さまとともに作りあげてきた、今後10年間の高浜市の道しるべとなる、「第7次総合計画」が始まる年となります。

この総合計画の策定にあたっては『将来のありべき姿を描き、それに向けて何をすべきか』という考え方が用いられており、これまでの計画の策定とは異なる考え方となっております。しかし、どのような考え方であっても、1番重要なことは、『計画一辺倒ではなく、機敏に、状況に応じて計画を遂行していくこと』です。このことを大切に、総合計画で掲げたさまざまな施策を進めてまいります。

また、本年は、機能を移転した新しいカタチの図書館がオープンします。施設が持つべき機能と今まで大切にしてきた図書館のよいところをうまく結び付けることにより、本を軸にした交流活動を活性化させるとともに、子どもたちへのアプローチをしっかりと進め、皆さまと図書との出会いを広げていくことに取り組んでまいります。

しかしながら、さまざまな事業は市の力だけで行うことはできません。市民の皆さま一人ひとりができることを取り組んでいただき、わたしたちのまち高浜市にとって望ましい未来に向かって、皆さまとともに大家族一丸となって進んでいきたいと思っておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。おわりに、令和5年の新春の門出にあたり、本年が市民の皆さまにとって素晴らしい1年になることを祈念し、新年のごあいさついたします。